

臨床研究に関する情報

現在、東京女子医科大学腎臓内科学では、J-DOPPS（Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study）で既に収集された情報を用いて、下記の研究を実施しています。

本研究では、新たな検査やアンケート調査等はいりません。また、東京女子医科大学が J-DOPPS に登録された患者さんの個別データの提供を受けることはなく、指定解析機関による解析結果のみの提供を受けます。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者までお問い合わせください。

〔研究課題名〕

日本の維持血液透析患者における週 2 回透析（Incremental Hemodialysis）の QOL・安全性および適応患者背景の検討

〔研究対象者〕

2009 年 4 月から 2022 年 9 月までに J-DOPPS Phase 4～7 に登録された日本の維持血液透析患者のうち、患者アンケートが取得され、週あたりの血液透析回数が確認でき、週 2 回または週 3 回の血液透析を受けている方を対象とします。

〔研究に利用する情報〕

J-DOPPS で既に収集された情報を利用します。主な情報は、年齢、性別、既往歴、腎不全の原因となった疾患、血液透析の回数・治療条件、血液検査結果、患者アンケートによる生活の質（QOL）、入院および死亡に関する情報等です。

〔研究の目的・方法〕

週 3 回の血液透析が一般的ですが、患者さんの状態によっては週 2 回の血液透析が行われることがあります。本研究では、週 2 回血液透析を受けている患者さんと週 3 回血液透析を受けている患者さんについて、生活の質（QOL）、入院および死亡を比較し、週 2 回血液透析の有効性・安全性や、どのような患者さんに適している可能性があるかを検討します。

本研究では J-DOPPS で既に収集された情報を用いるため、研究のために新たな採血、画像検査、アンケート調査等を行うことはありません。

〔情報の取扱い〕

J-DOPPS のデータを用いた統計解析は、業務委託機関である特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構（iHope International）が行います。東京女子医科大学の研究者は J-DOPPS の個別データの提供を受けず、iHope International から解析結果のみの提供を受けます。

〔研究実施期間〕

研究実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

〔東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者〕

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓内科学 助教 高橋 利奈

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓内科学 高橋 利奈

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）